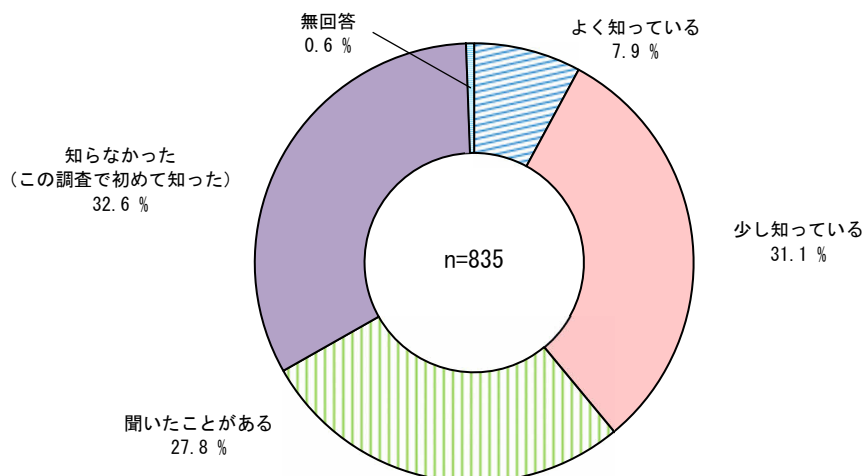


持続可能な開発目標 (SDGs) について

問1 あなたは、SDGsについて知っていますか。

次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「知らなかった (この調査で初めて知った)」(32.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「少し知っている」(31.1%)、「聞いたことがある」(27.8%)の順となっている。

【圏域別】

「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、道北連携地域 (44.9%) が最も割合が高く、次いで道南連携地域 (39.4%) となっている。「少し知っている」については、道北連携地域 (34.6%) が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域 (32.8%) となっている。

【人口規模別】

「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、人口 10 万人未満の市 (44.8%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (36.0%) となっている。「少し知っている」については、札幌市 (34.8%) が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市 (31.5%) となっている。

【性別】

「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、男性 28.8%、女性 36.3% となっており、「少し知っている」については、男性 30.2%、女性 31.8% となっている。

【年代別】

「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、30～39 歳 (40.8%) が最も割合が高く、次いで 70 歳以上 (37.3%) となっている。「少し知っている」については、60～69 歳 (37.9%) が最も割合が高く、次いで 50～59 歳 (32.3%) となっている。

【職種別】

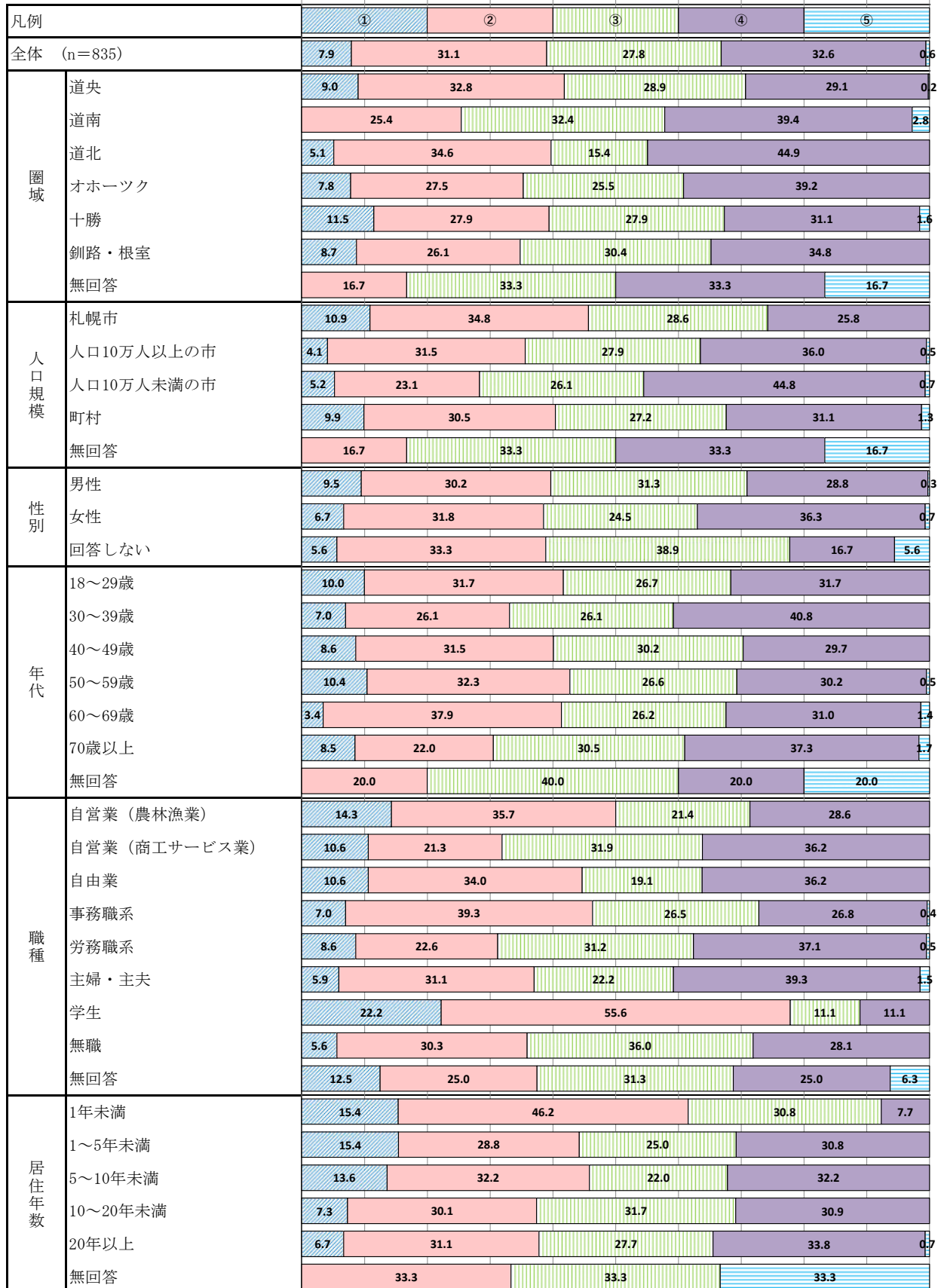
「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、主婦・主夫 (39.3%) が最も割合が高く、次いで労務職系 (37.1%) となっている。「少し知っている」については、事務職系 (39.3%) が最も割合が高く、次いで自由業 (34.0%) となっている。

【居住年数別】

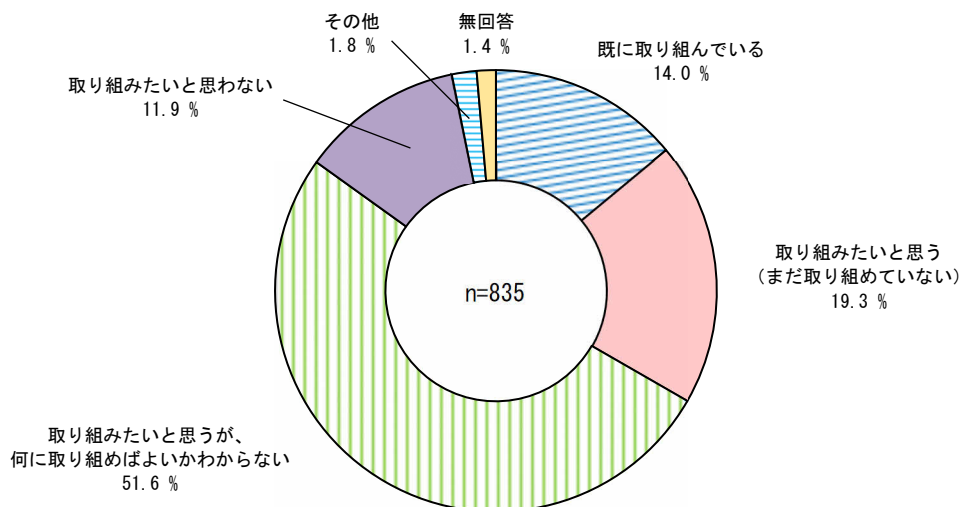
「知らなかった (この調査で初めて知った)」については、20 年以上 (33.8%) が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満 (32.2%) となっている。「少し知っている」については、1 年未満 (46.2%) が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満 (32.2%) となっている。

①よく知っている ②少し知っている ③聞いたことがある
 ④知らなかった（この調査で初めて知った） ⑤無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問2 SDGsの達成に向け、あなた自身が何らかの取組を行いたいと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」(51.6%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」(19.3%)、「既に取り組んでいる」(14.0%)の順となっている。

【圏域別】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、道南連携地域(59.2%)が最も割合が高く、次いで十勝連携地域(54.1%)となっている。「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」については、道北連携地域(24.4%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(23.5%)となっている。

【人口規模別】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、人口10万人未満の市(56.0%)が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市(52.7%)となっている。「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」については、札幌市(20.2%)が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市(20.1%)となっている。

【性別】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、男性48.9%、女性53.9%となっており、「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」については、男性18.8%、女性20.0%となっている。

【年代別】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、18~29歳(56.7%)が最も割合が高く、次いで30~39歳(53.5%)となっている。「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」については、50~59歳(23.4%)が最も割合が高く、次いで40~49歳(20.3%)となっている。

【職種別】

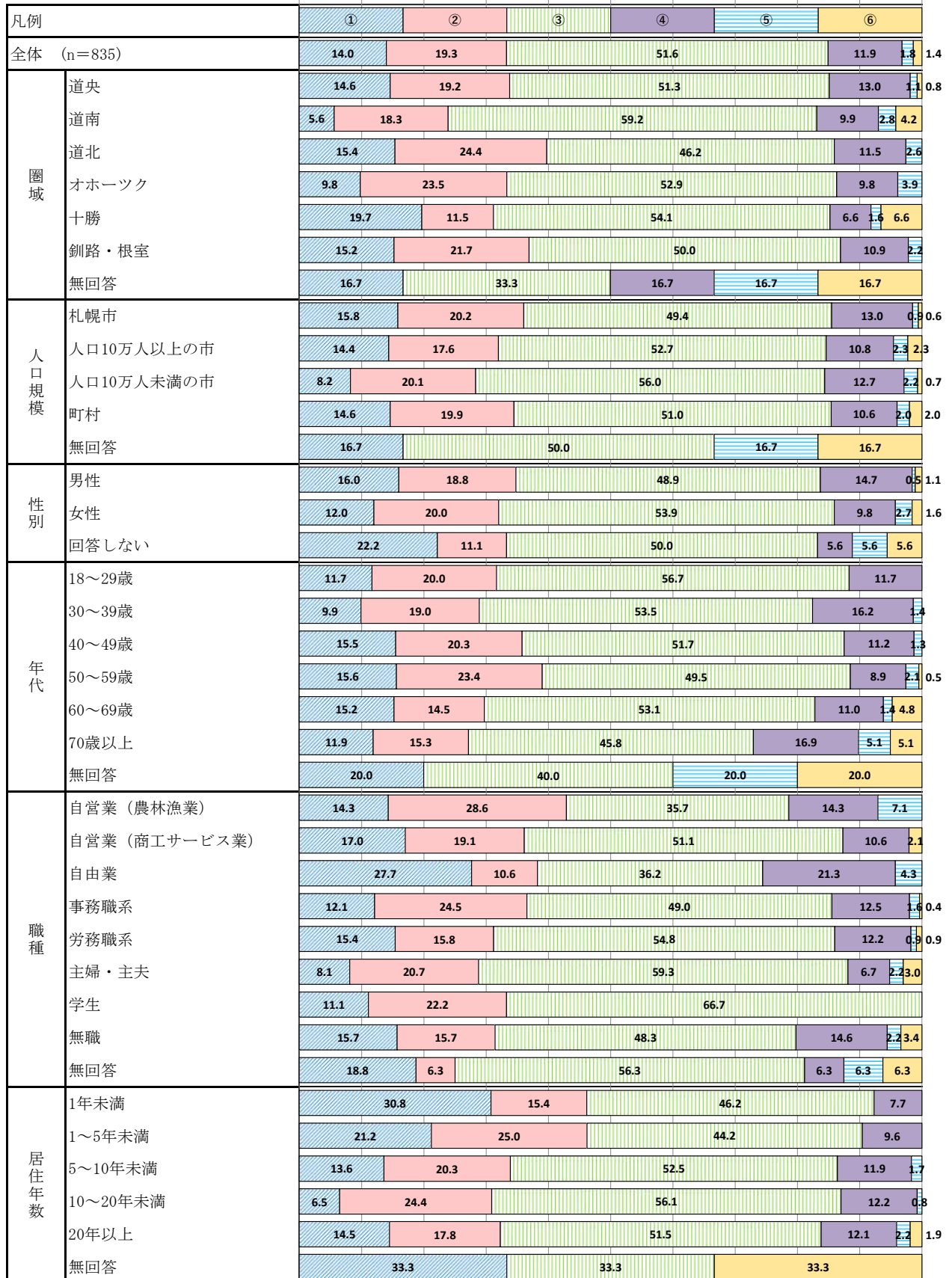
「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、主婦・主夫(59.3%)が最も割合が高く、次いで労務職系(54.8%)となっている。「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」については、事務職系(24.5%)が最も割合が高く、次いで主婦・主夫(20.7%)となっている。

【居住年数別】

「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」については、10～20年未満（56.1%）が最も割合が高く、次いで5～10年未満（52.5%）となっている。「取り組みたいと思う（まだ取り組めていない）」については、1～5年未満（25.0%）が最も割合が高く、次いで10～20年未満（24.4%）となっている。

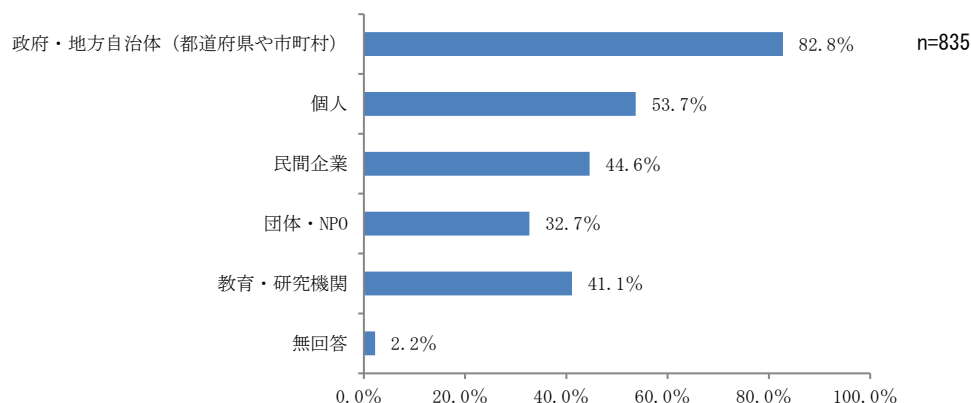
- ①既に取り組んでいる ②取り組みたいと思う（まだ取り組めていない）
 ③取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない
 ④取り組みたいと思わない ⑤その他 ⑥無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 SDGsを達成するためには主に誰が行動すべきだと思いますか。

次の中からいくつでもお選びください。



【全体】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」（82.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「個人」（53.7%）、「民間企業」（44.6%）の順となっている。

【圏域別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、オホーツク連携地域（90.2%）が最も割合が高く、次いで道南連携地域（87.3%）となっている。「個人」については、釧路・根室連携地域（58.7%）が最も割合が高く、次いで道北連携地域（56.4%）となっている。

【人口規模別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、町村部（87.4%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市（84.7%）となっている。「個人」については、町村部（58.3%）が最も割合が高く、次いで札幌市（58.1%）となっている。

【性別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、男性79.3%、女性85.5%となっており、「個人」については、男性50.5%、女性55.7%となっている。

【年代別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、30～39歳（88.0%）が最も割合が高く、次いで70歳以上（86.4%）となっている。「個人」については、18～29歳（60.0%）が最も割合が高く、次いで50～59歳（57.3%）となっている。

【職種別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、主婦・主夫（87.4%）が最も割合が高く、次いで労務職系（84.6%）となっている。「個人」については、事務職系（55.6%）が最も割合が高く、次いで自営業（商工サービス業）（55.3%）となっている。

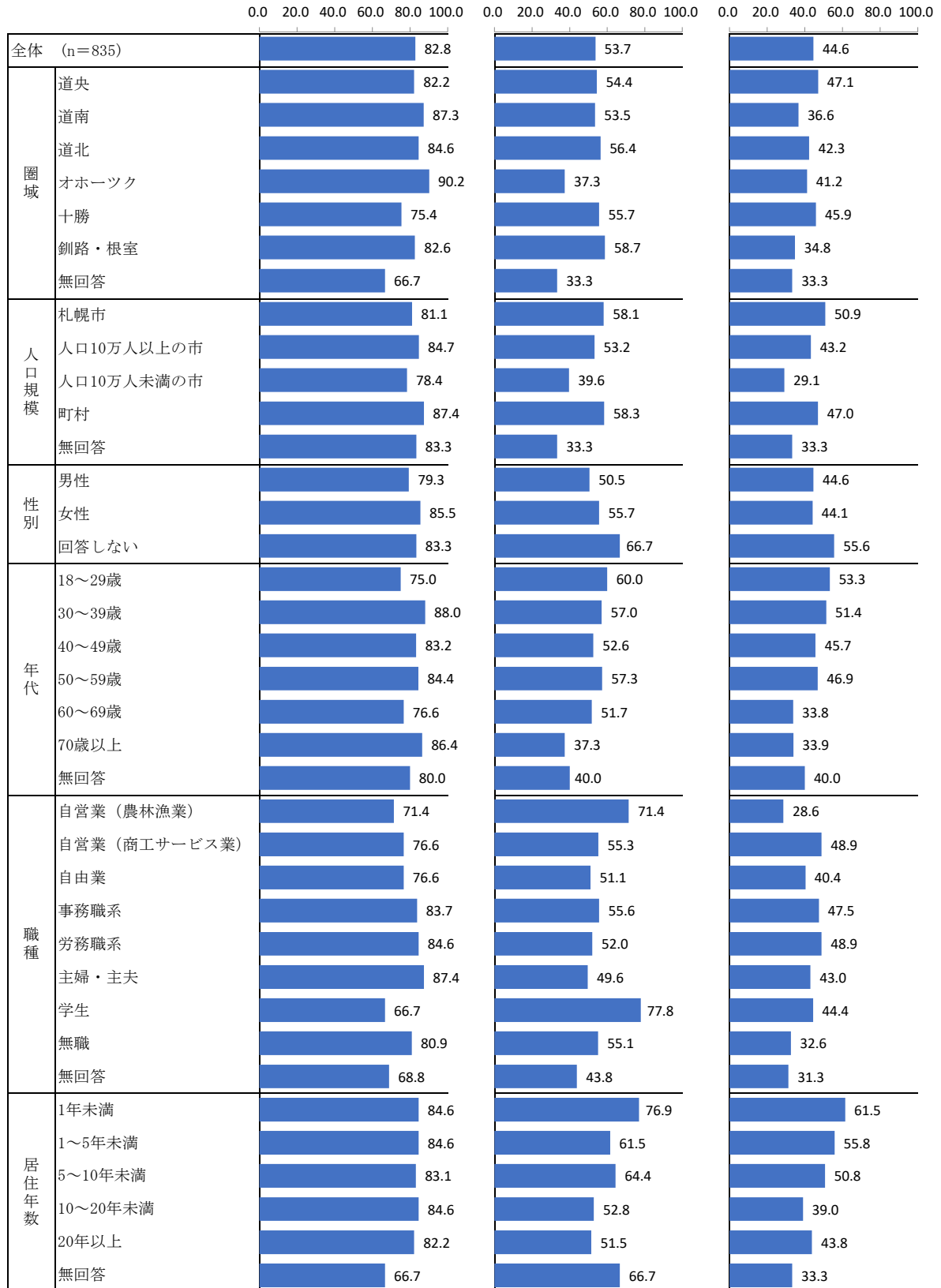
【居住年数別】

「政府・地方自治体（都道府県や市町村）」については、1年未満、1～5年未満、10～20年未満が同率（84.6%）で最も割合が高く、次いで5～10年未満（83.1%）となっている。「個人」については、1年未満（76.9%）が最も割合が高く、次いで5～10年未満（64.4%）となっている。

政府・地方自治体（都道府県
や市町村）

個人

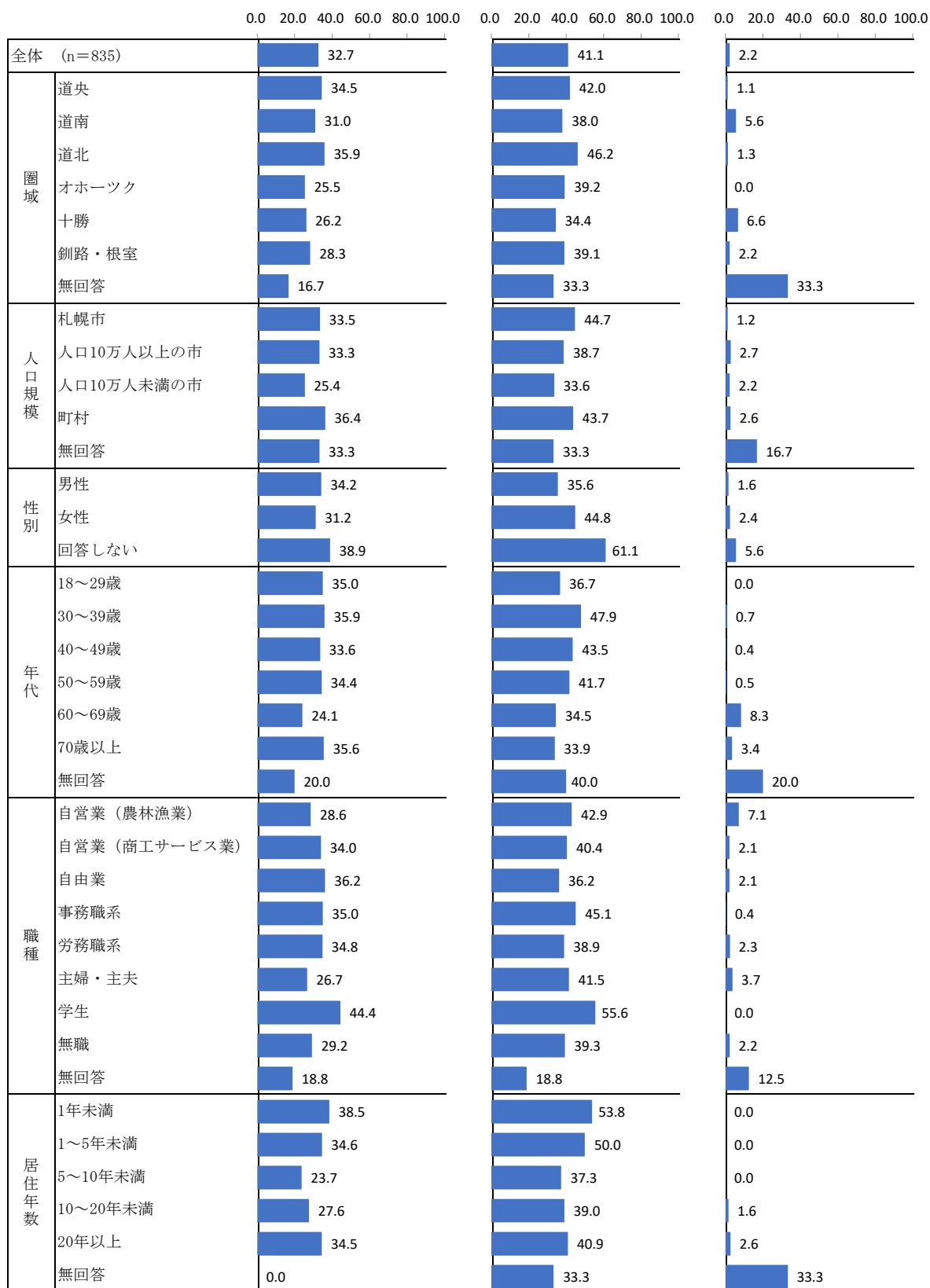
民間企業



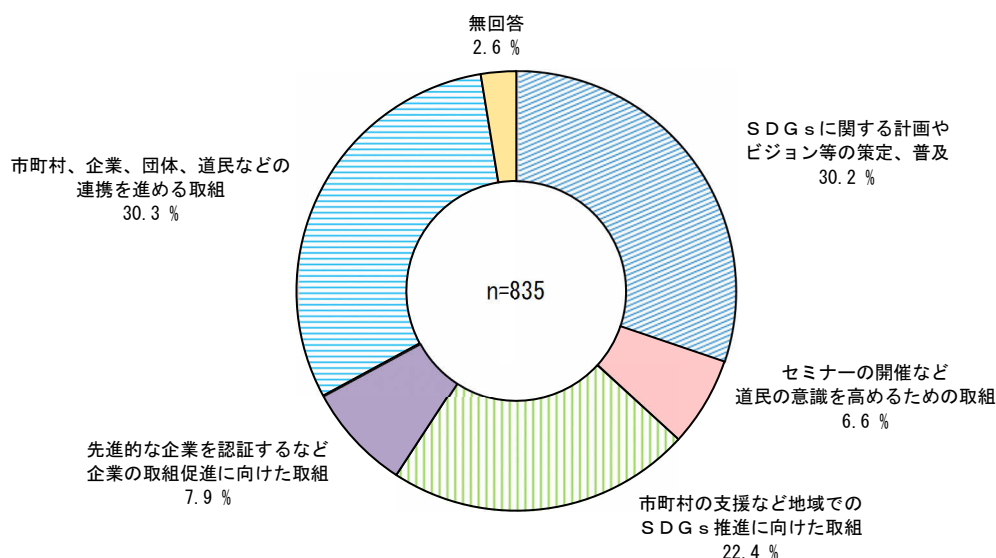
団体・NPO

教育・研究機関

無回答



問4 北海道全体でSDGsを推進していくにあたり、道庁に最も期待することを教えてください。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」（30.3%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」（30.2%）、「市町村の支援など地域でのSDGs推進に向けた取組」（22.4%）の順となっている。

【圏域別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、オホーツク連携地域（37.3%）が最も割合が高く、次いで道北連携地域（33.3%）となっている。「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、道北連携地域（33.3%）が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域（33.0%）となっている。

【人口規模別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、人口10万人未満の市（37.3%）が最も割合が高く、次いで町村部（32.5%）となっている。「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、札幌市（34.8%）が最も割合が高く、次いで人口10万人未満の市（31.3%）となっている。

【性別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、男性27.2%、女性32.7%となっており、「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、男性36.1%、女性25.4%となっている。

【年代別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、70歳以上（40.7%）が最も割合が高く、次いで60～69歳（32.4%）となっている。「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、30～39歳（36.6%）が最も割合が高く、次いで40～49歳（30.6%）となっている。

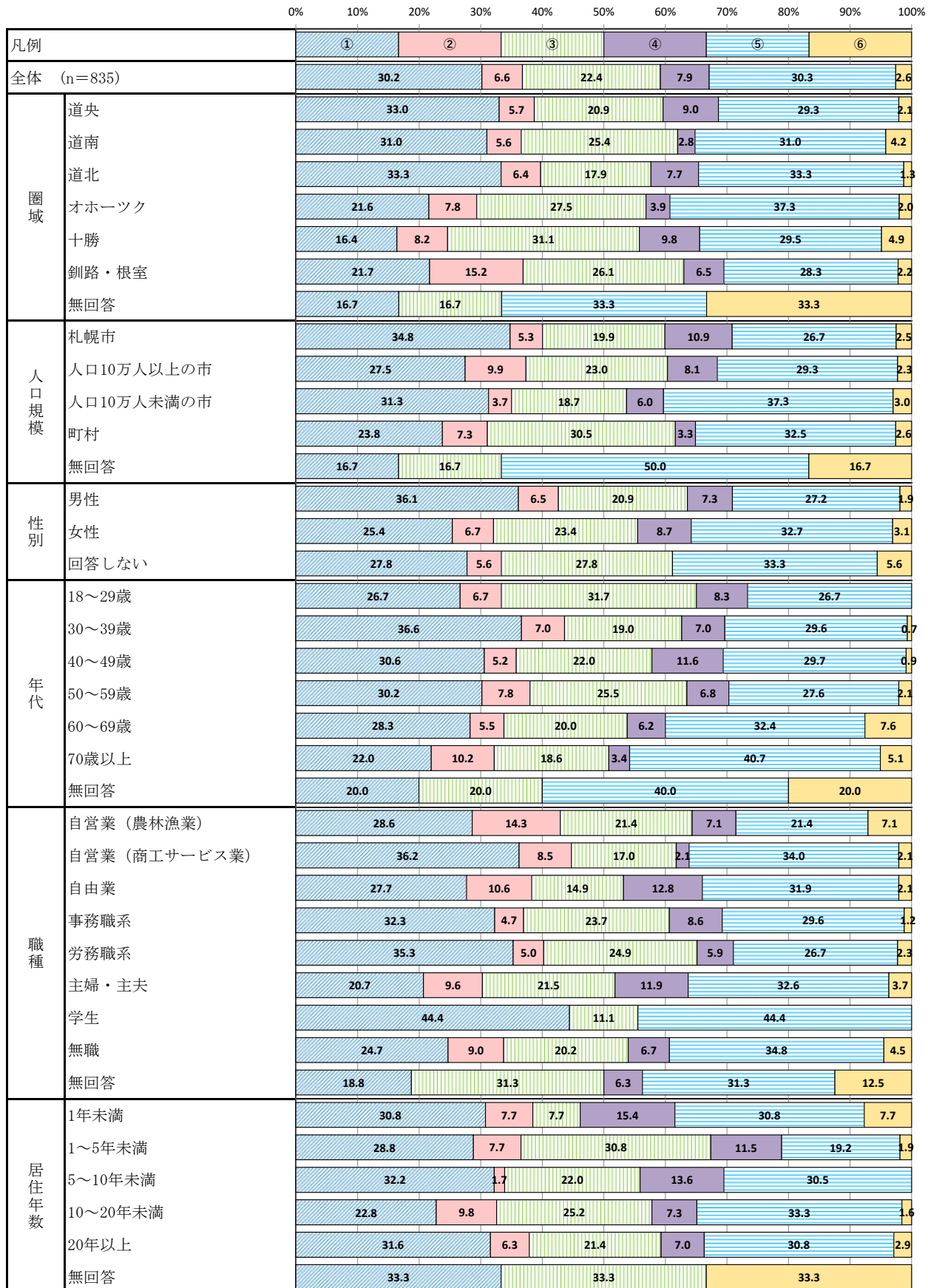
【職種別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、無職（34.8%）が最も割合が高く、次いで自営業（商工サービス業）（34.0%）となっている。「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、自営業（商工サービス業）（36.2%）が最も割合が高く、次いで労務職系（35.3%）となっている。

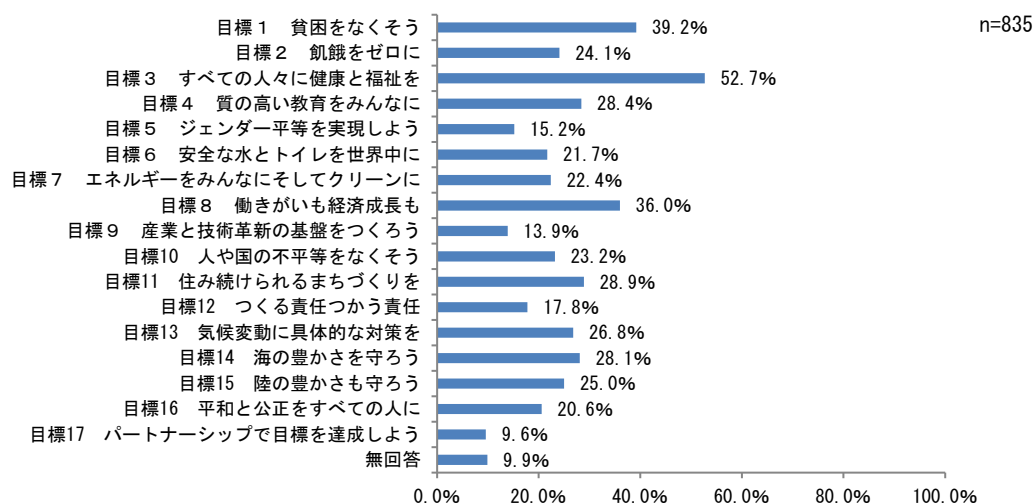
【居住年数別】

「市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組」については、10～20年未満（33.3%）が最も割合が高く、次いで1年未満と20年以上が同率（30.8%）となっている。「SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及」については、5～10年未満（32.2%）が最も割合が高く、次いで20年以上（31.6%）となっている。

- ①SDGsに関する計画やビジョン等の策定、普及
 ②セミナーの開催など道民の意識を高めるための取組
 ③市町村の支援など地域でのSDGs推進に向けた取組
 ④先進的な企業を認証するなど企業の取組促進に向けた取組
 ⑤市町村、企業、団体、道民などの連携を進める取組
 ⑥無回答



問5 新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、北海道内において特に取り組むべきと思うSDGsの目標は何ですか。次の中からいくつでもお選びください。また、その目標を選択した理由を下の枠にご記入ください。



【全体】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」(52.7%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「目標1 貧困をなくそう」(39.2%)、「目標8 働きがいも経済成長も」(36.0%)の順となっている。

【圏域別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、道央広域連携地域(53.8%)が最も割合が高く、次いで道北連携地域(52.6%)となっている。「目標1 貧困をなくそう」については、釧路・根室連携地域(47.8%)が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域(43.1%)となっている。

【人口規模別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、札幌市(57.5%)が最も割合が高く、次いで町村部(52.3%)となっている。「目標1 貧困をなくそう」については、人口10万人未満の市(41.0%)が最も割合が高く、次いで札幌市(40.4%)となっている。

【性別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、男性51.9%、女性53.2%となっており、「目標1 貧困をなくそう」については、男性33.2%、女性43.4%となっている。

【年代別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、18~29歳(55.0%)が最も割合が高く、次いで40~49歳(54.3%)となっている。「目標1 貧困をなくそう」については、40~49歳(45.3%)が最も割合が高く、次いで18~29歳(43.3%)となっている。

【職種別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、事務職系(55.6%)が最も割合が高く、次いで主婦・主夫(54.8%)となっている。「目標1 貧困をなくそう」については、主婦・主夫(46.7%)が最も割合が高く、次いで事務職系と無職が同率(39.3%)となっている。

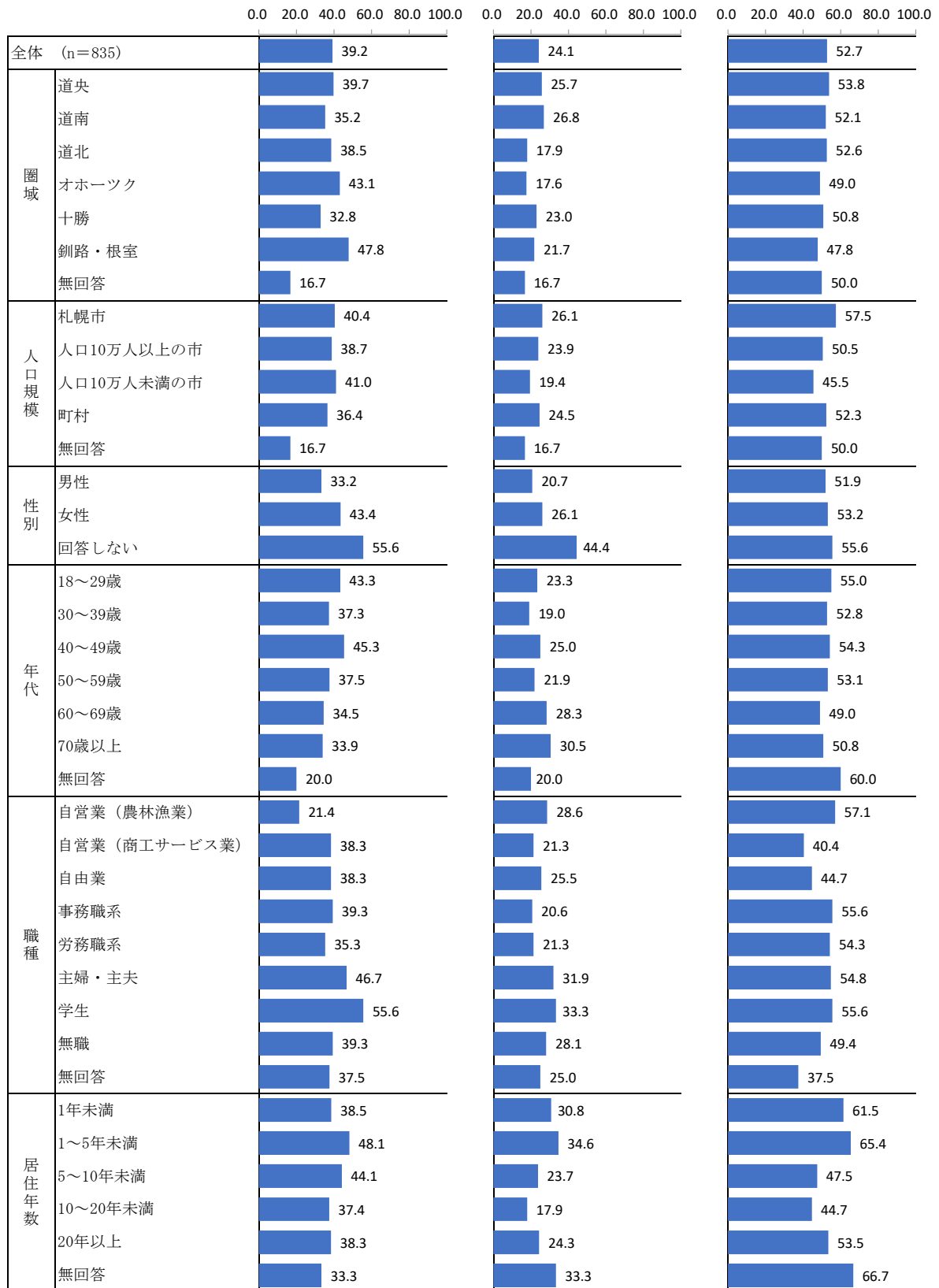
【居住年数別】

「目標3 すべての人々に健康と福祉を」については、1~5年未満(65.4%)が最も割合が高く、次いで1年未満(61.5%)となっている。「目標1 貧困をなくそう」については、1~5年未満(48.1%)が最も割合が高く、次いで5~10年未満(44.1%)となっている。

目標1 貧困をなくそう

目標2 飢餓をゼロに

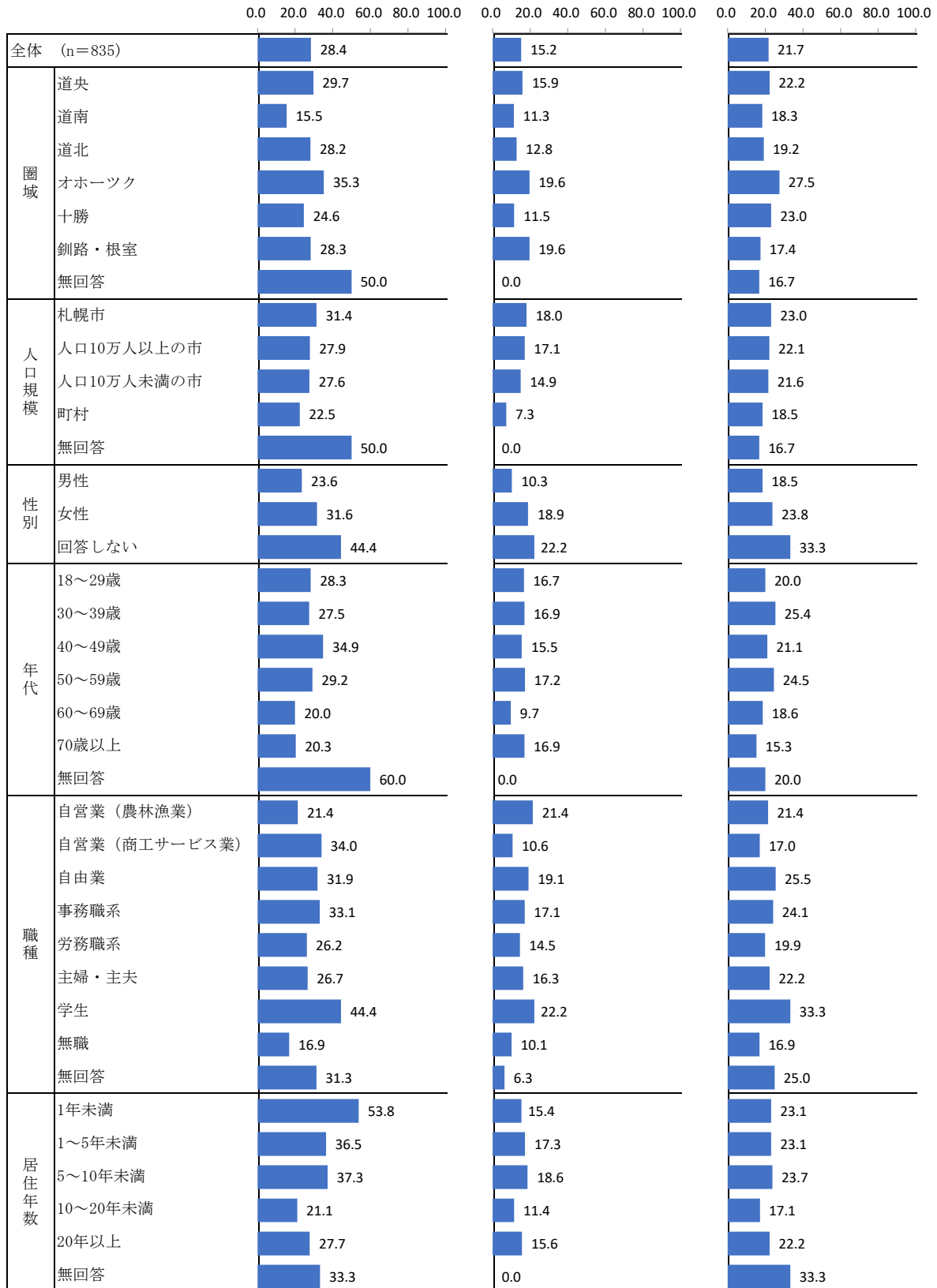
目標3 すべての人々に健康と福祉



目標4 質の高い教育をみんなに

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

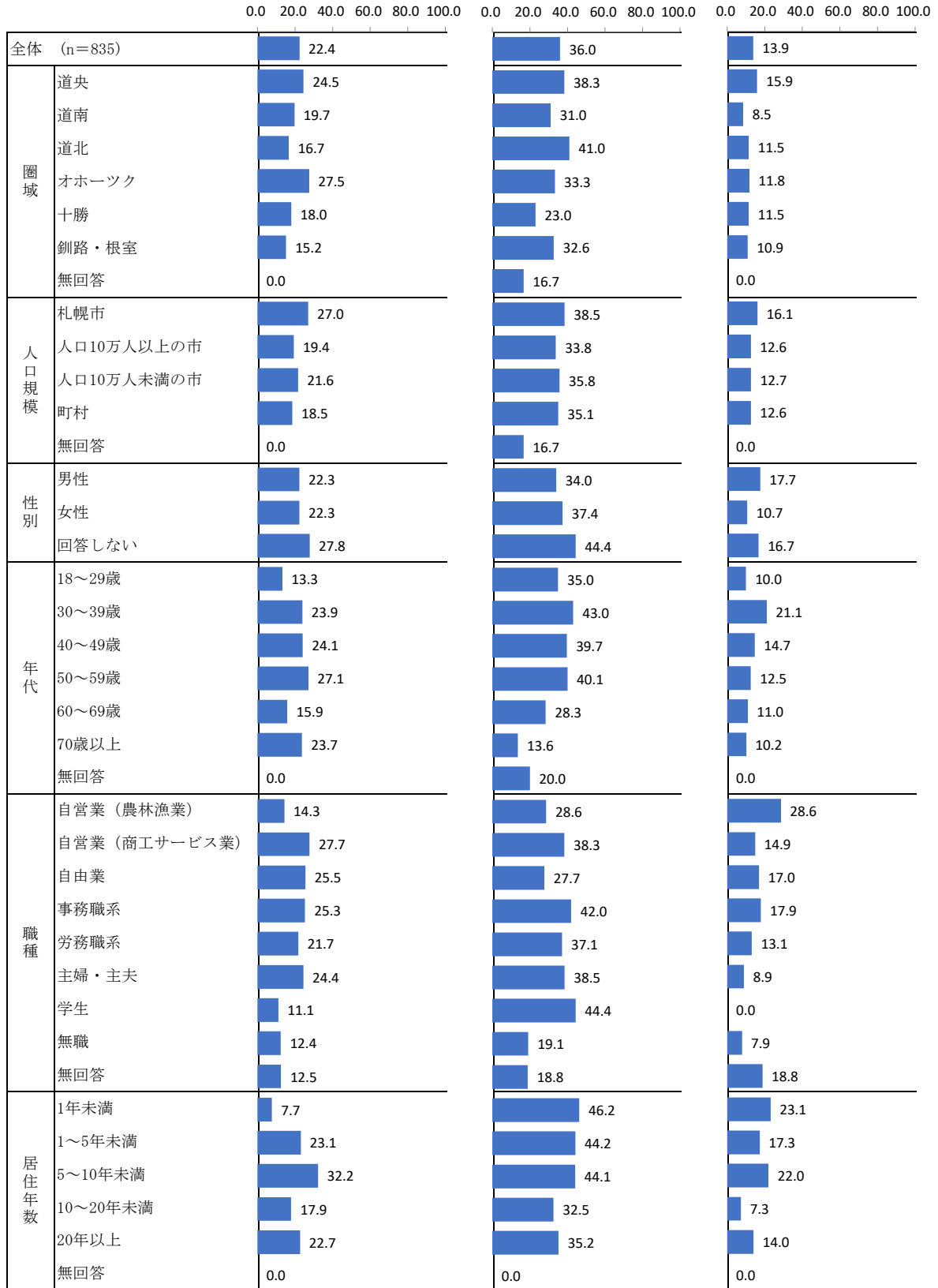
目標6 安全な水とトイレを世界中に



目標7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

目標8 働きがいも経済成長も

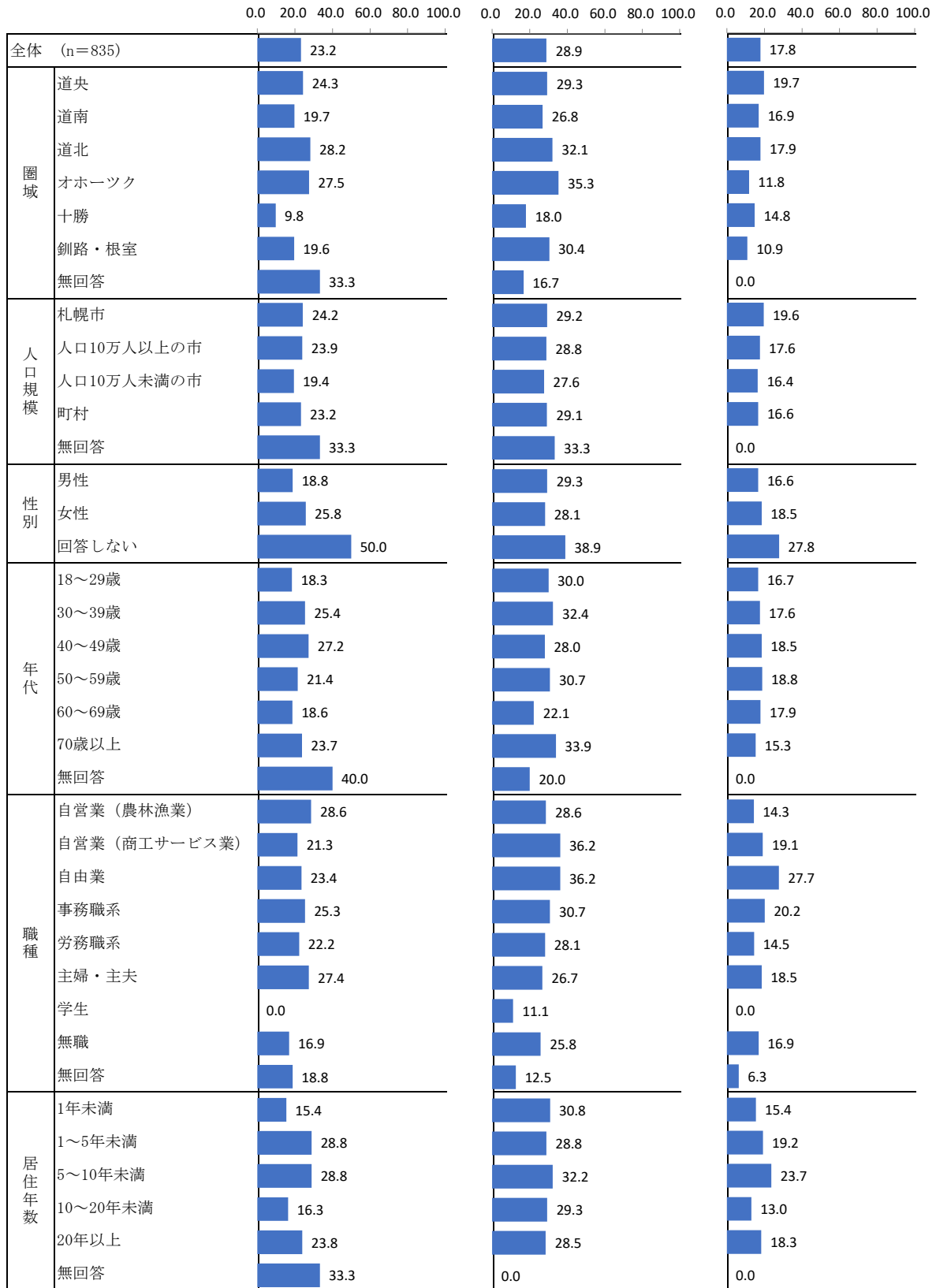
目標9 産業と技術革新の基
盤をつくる



目標10 人や国の不平等をなくそう

目標11 住み続けられるまちづくり

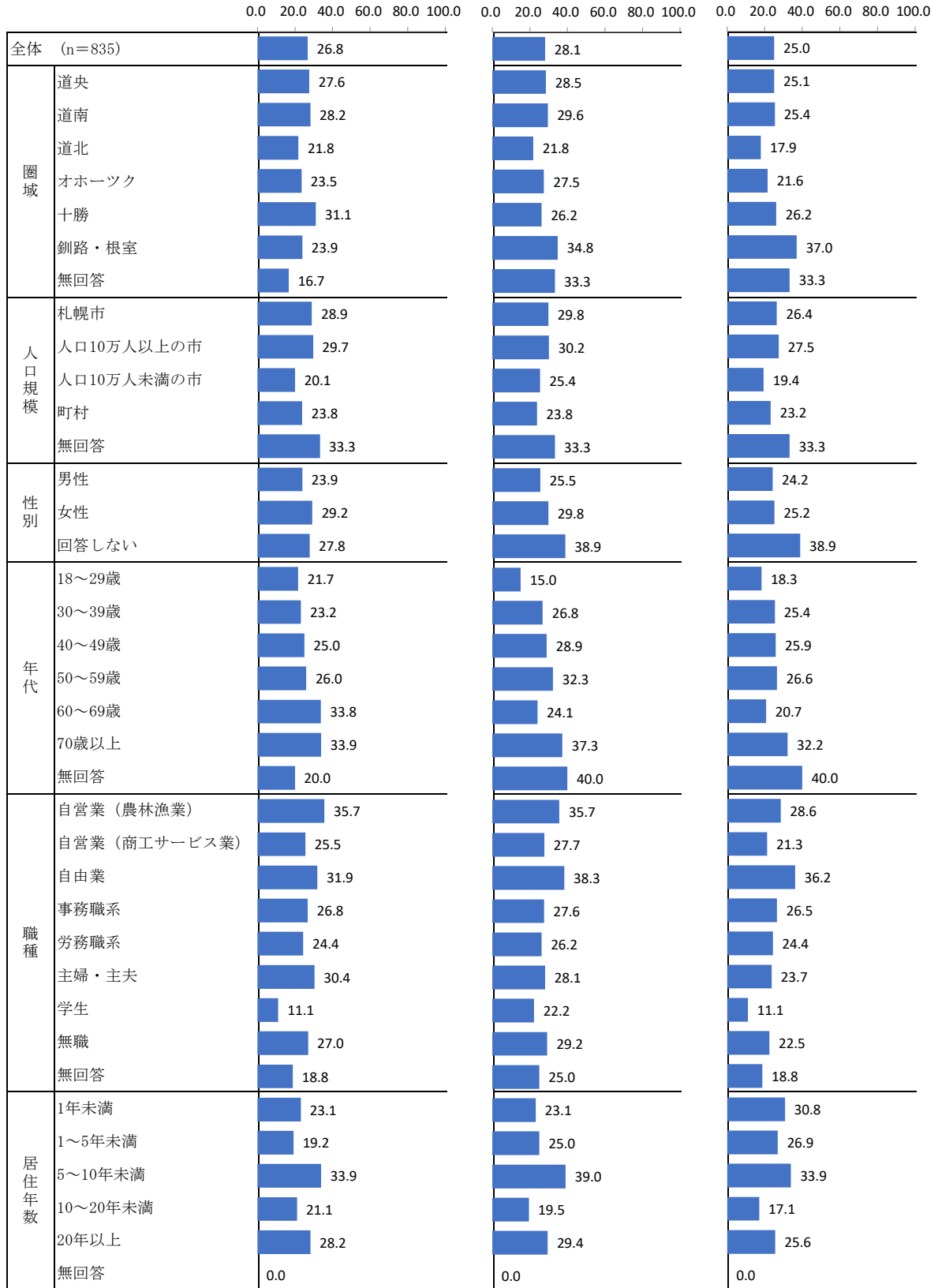
目標12 つくる責任つかう責任



目標13 気候変動に具体的な対策を

目標14 海の豊かさを守ろう

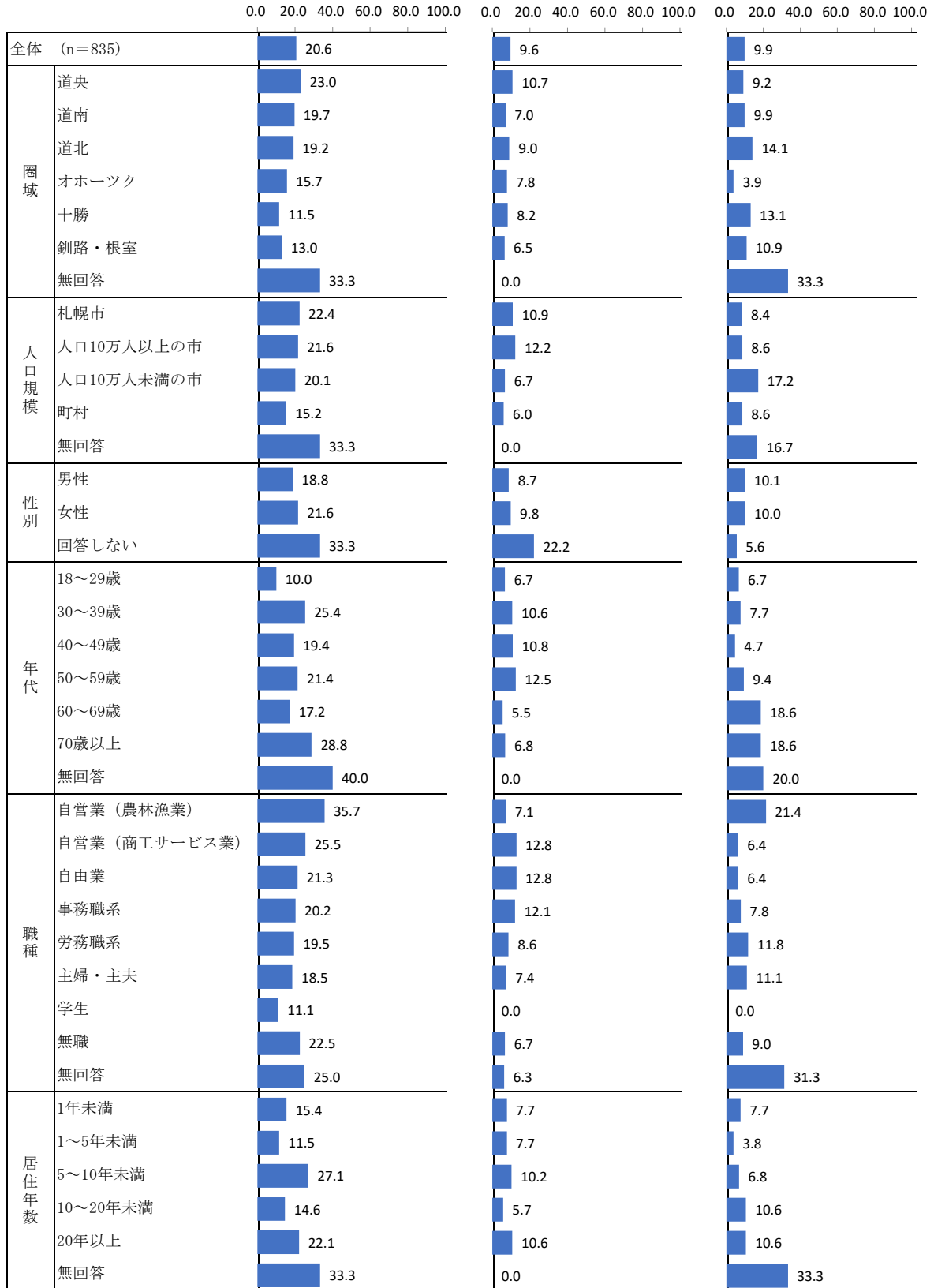
目標15 陸の豊かさを守ろう



目標16 平和と公正をすべての人

目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

無回答



「持続可能な開発目標 (SDGs) について」の調査を終えて

SDGs の認知度(「よく知っている」、「少し知っている」、「聞いたことがある」)については、前回調査(平成30年度(2018年度))では約3割だったものが、今回は7割に増えた。

一方、「知らなかった」(この調査で始めて知った)と回答された方は、どの年代でも約3割いることがわかった。

また、SDGs の達成に向けた取組への意向については、「既に取り組んでいる」、「取り組みたいと思う(まだ取り組めていない)」と取り組む意向を示している方が3割以上いるが、「取り組みたいと思うが、何に取り組めばよいかわからない」と回答された方の割合が5割で、前回調査の約6割に引き続き、最も高い結果となった。

今回の調査結果から、SDGs の認知度は高くなってきてはいるものの、何に取り組めばよいかわからないと感じている方の割合は、依然として高いことがわかる。

今後は、認知度の更なる向上や、実際に取り組む主体の増加に向けて、地域における SDGs の浸透に重要な役割を果たす市町村の取組への支援や、実際に取り組む上で参考となるような内容でのセミナーの開催など、道内の多様な主体と連携しながら、SDGs の達成に向けた取組を推進していく。

(総合政策部計画局計画推進課)